

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	膵Solid-pseudopapillary neoplasm (SPN)の臨床病理学的検討			
2. 対象患者	当科でSPNに対し治療を行われた患者さん			
3. 対象となる期間	2000年1月1日 ~ 2019年12月31日			
4. 実施診療科等	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	神田 大周	所属	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	膵Solid-pseudopapillary neoplasm (SPN)は多くが若年女性に発生する稀な腫瘍であり、基本的に低悪性度腫瘍と考えられ、ほとんどは良性の経過を示す腫瘍です。しかしながら、一定の割合で悪性例を認めるため、原則的に外科治療の適応となります。2000年1月から2019年12月の間に当科で治療を行った10名の患者さんを対象にし、臨床病理学的な悪性所見や予後を評価することで、治療方針の決定や予後の向上に寄与できるものと考えます。			
8. 研究の目的	2000年1月から2019年12月の期間に、当科でSPNに対し治療を行われた患者さんを対象とし、臨床病理学的な悪性所見や予後を評価、検討することで、治療方針の決定や患者さんの予後を向上させることを目的といたします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録から、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、術式、合併症などの手術関連情報、術後経過、予後などの情報を収集し解析を行います。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を収集することはありません。研究結果は学会等で報告されますが、個人が特定される情報を公開することはありません。拒否の申し出があった場合は研究対象から除外しデータを削除いたします。ただし匿名化の上で解析済みの場合や研究結果公表済みのデータを修正することはできませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080